



### 令和5年定例会 9月会議

小中学校給食材料費補助	2
令和4年度決算	6
9人が登壇 一般質問	9
地域懇談会「ほんわかせっしょん」を開催します	20
来年こそは全国優勝!	22

[表紙写真: 4年ぶりのみこし巡行!]

### 12月会議の予定

12月13日(水)	議案提案
14日(木)	一般質問
15日(金)	一般質問
19日(火)	総務事業常任委員会
20日(水)	民生教育常任委員会
21日(木)	予算決算常任委員会
26日(火)	議案採決

# 学校給食材料費を補助…288万5千円(小・中学校)

## 物価高騰対策／学校給食材料費の補助で、給食費の値上げ抑制する

～小学校に172万4千円、中学校に116万1千円～

定例会  
9月会議



令和5年度定例会9月会議を9月1日に開会し、令和4年度決算、人事案件、条例改正、契約、和解、令和5年度補正予算の町長提案がありました。審議の結果は全て可決となりました。

一般質問は9人がおこない、町政の課題について質問しました。なお、このページでは補正予算や条例改正、人事、和解について掲載していません。

委員会で審議内容は、4～7ページに掲載していますのでお読みください。

### 令和5年度補正予算（9月会議）

区 分		補正額	補正後の額	
一般会計（第3号）		3億3298万円	80億363万円	
特別会計	国民健康保険〈事業勘定〉（第2号）	794万円	19億1949万円	
	三郷山財産区（第2号）	551万円	4587万円	
	介護保険（第1号）（保険事業勘定）	1億319万円	17億6089万円	
	介護保険（第1号）（介護サービス事業勘定）	217万円	1417万円	
	後期高齢者医療（第1号）	1479万円	3億2699万円	
企業会計	水道事業（第2号）	収益的収入	363万円	6億3039万円
		収益的支出	▲738万円	6億8791万円
		資本的支出	11万円	2億4607万円
	下水道事業（第1号）	収益的収入	▲3万円	8億9244万円
		収益的支出	111万円	8億6895万円
		資本的支出	▲268万円	4億1707万円

[万円未満四捨五入（▲＝減額）]

## 条例改正

### ◆町税条例一部改正

地方税法が一部改正され、森林環境税（国税）を来年1月1日から施行するため、条例を改正する。

また、給与所得者の扶養親族等の申告書についての改正は、令和7年1月1日から施行。

### ◆火災予防条例一部改正

消防法施行規則等の省令一部改正に伴い、火気器具等の位置、構造、管理や取扱い等について、条例制定の基準が変更となるため、条例を改正する。

## 人 事

任期満了に伴い、任命（選任）することになりました。

### ◆固定資産評価審査委員会委員の選任

松若 恵理子氏（新任）  
任期3年

### ◆教育委員会委員の任命

田口 賀彦氏（再任）  
任期4年

### ◆人権擁護委員の推薦

田井 眞奈美氏（再任）  
任期3年

本会議・予算決算常任委員会の映像配信  
久御山町議会ホームページから録画映像がご覧いただけます。



議案  
第78号

久御山中学校・南校舎外壁  
タイル剥離等に関する損害賠償請求(約1億4000万円)

京都府建設工事  
紛争審査会の

和解案

賛成  
多数で 可決

◆京都府建設工事紛争審査会に仲裁申請

平成29年、町立久御山中学校南校舎(平成21年度完成)に外壁タイルの浮きが判明したため、被申請人である(株)第一土木に、外壁タイルの浮き・剥離について修繕請求をおこないました。

しかし、本町の請求に応じないことから、修繕費用の支払い等を求める仲裁申請を、京都府建設工事紛争審査会におこないました。

その後、タイル下地部位に浮きの発生が判明したことなどから2度の修繕工事を実施。同審査会には、修繕工事費用など総額約1億4000万円  
の損害賠償を求めました。

◆和解案の内容

同審査会からは、町の過失は無いことを前提に、被申請人と利害関係人の①(株)日匠設計および②(株)山陶に、次の(1)、(2)の和解案が提示された。

- (1) 建物躯体のコンクリート工事の際に仕様書にない工事をおこなったことが建物の基本的安全性を欠く瑕疵である。
- (2) 和解金7000万円を久御山町に支払うこと(負担割合は被申請人と利害関係人①の80対20)。

賛成討論

◆京都府建設工事紛争審査会から  
出された和解案は尊重すべき

島 宏樹

京都府建設工事紛争審査会は、平成30年から5年間で合計25回審査をおこなった。

本町の顧問弁護士を代理人として、慎重に審議された結果、本町に瑕疵は全く無いと判断を下された上で、修繕に必要な工事費の積算が行われた結論は、最大限に尊重するべき。

◆再発防止、工事請負契約においての  
瑕疵担保条項の厳格化を

樋口 房次

和解案は、京都府建設工事紛争審査会へ仲裁を申し出、5年の経過を要した結果、示されたものである。顧問弁護士を通じて粘り強く解決にあたってきたが、示された数字に納得することができない。

しかし、さらなる投入金額の回収を試みてもその確約もない。再発防止に向け瑕疵担保条項の厳格化を望む。

反対討論

◆町の瑕疵は無いと言うなら、  
なぜ7000万円でも同意するのか

中井 孝紀

和解案に同意すれば残りの7000万円は町の負担になる。7000万円は高額であり、住民が汗をかいて納めた税金を無駄にするわけにはいかない。

紛争審査会の指摘する減額理由には理解できない部分があり、町として正當な主張を続け1億4000万円全額回収をめざし争うことを求める。

◆住民に情報提供し意見を聞くべき

中野 ますみ

本町には過失が無いことが審査会で認められている。にもかかわらず、なぜ町負担が全費用の1/2なのか。納得できない。

◆常任委員会での審査が不十分  
第一土木に対して譲歩しすぎだ

芦田 祐介

和解によって解決することは否定しないが、第一土木に対して譲歩しすぎである。巨額の債権を事実上放棄することになるため、町財政に大きな穴があいてしまう。

議会と執行部だけで議論するのではなく、学識経験者への調査委託や参考人から意見聴取するなど、より慎重な審査が必要である。

# 総務事業 常任委員会

REPORT

9月7日

9月会議では、総務事業常任委員会（樋口房次委員長）に4議案が付託され、審査しました。質問の多かった議案を抜粋し、主な質疑と答弁を報告します。（採決結果は8ページ参照）

## 議案第67号 町税条例一部改正について

**Q** 森林環境税の負担対象者は何人か。

**A** 均等割課税で約7,700人。

**Q** 減免対象者もいるのか。限りなく少ないが、可能性はある。

**A** 森林環境譲与税の使用用途は、令和3年度分は全額基金に積み立てた。令和4年度は、子育て支援として出産祝い品等木材加工品に充当した。

## 議案第76号 全世代・全員活躍 まちづくりセンター周辺外構お よび駐車場整備工事請負契約の 締結について

**Q** 前回の委員会で、1期工事と

**A** 2期工事に分けておこなうと説明があったが、前回の説明のとおりで、業者と調整しながら進める。

**Q** スケジュールは。詳細はこれからだが、1期工事は来年1月に終わらせたい。2期工事はその後2カ月程度とみている。

**Q** 条件付き一般競争入札の具体的な条件とは。近隣自治体に本店が所在すること、1年以上営業していることなどである。

**Q** これまでもこのような条件はあったのか。

**A** 工事金額もあり、町内業者の参加を見込んで設定した。

**Q** 入札業者数に規定はあるのか。基本的にないが、地域を限定することで、参加業者数が多くならないよう設定した。

## 休会中の事務調査

## 京都府洛南浄化センター視察

7月26日

総務事業常任委員会は、木津川流域下水道施設である京都府洛南浄化センターを現地視察しました。

### ■洛南浄化センターとは

木津川流域の下水処理施設で、供用開始は1986年（昭和61年）、関係市町は京都市、宇治市、城陽市、八幡市、京田辺市、木津川市、久御山町、井手町の6市2町となり、平成28年4月時点での全体計画における処理面積は6,740ha。処理人口は39万1,400人となっている。

### ■業務内容と処理能力

1日の平均流入下水量は、約12万6,000m<sup>3</sup>で、供用開始から30年を経過しても増加傾向が続いている。汚水処理ではBOD、COD、SS、全窒素、全リンを低濃度処理し、宇治川へ放出している。また、処理の過程で発生するガスで発電をし、施設使用電力の約20%を賄っている。

### ■流域自治体として

微生物の汚水処理には限界もあり、各家庭から排水される汚水の水質状況を改善することが、処理施設のメンテナンスの軽減や新たな設備投資の抑制につながり、結果として税金負担減に結びつくことから、住民の意識の向上が期待される。本町においても家庭排水における飲み残し食べ残し、油類の適正処理と接続率の向上を改めて考える機会となった。

### ■質疑応答

**Q** マイクロプラスチックの処理は。

**A** 微生物分解であり、限界がある。

**Q** 施設の立地は宇治川と木津川に囲まれているが、水害対策はできているか。

**A** 防水扉を設置したり、高さを変えるなどの工事を実施中である。



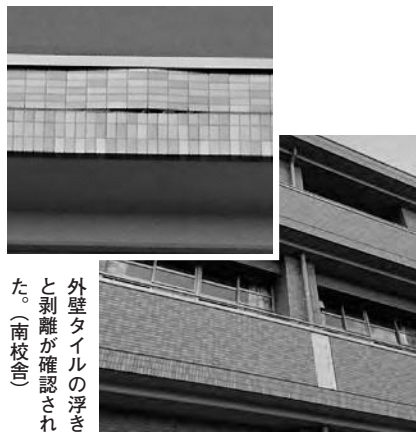
最終沈殿池を視察

# 民生教育 常任委員会 REPORT 9月8日

## 議案第78号 和解について 久御山中学校・南校舎外壁タイ ル剥離等に関する損害賠償請求

9月会議では、民生教育常任委員会（異悦子委員長）に議案第78号「和解について」が付託され、審査しました。主な質疑と答弁を報告します。（採決結果は8ページ参照）

- Q** 安心・安全のためなら仕方がないと一定思うが、どのように考えているのか。
- A** 仲裁Ⅱ和解と考えている。町も京都府建設工事紛争審査会で、訴え続けてきた。最終的に和解として減額された。
- Q** 年5%の遅延損害金を放棄することはないとと思うが。
- A** 遅延損害金は審査会が出した金額で審査会の判断。
- Q** 仲裁案には異議申し立てできないというの。
- A** 審査会では上積み主張をしてきたが、この金額になった。住民にわかりやすく説明するには。



外壁タイルの浮きと剥離が確認された。（南校舎）

- Q** 和解案は不十分とは言い難い。確実に受け取ることができない案を受諾することはやむを得ないと考える。
- A** 和解案は不十分とは言い難い。確実に受け取ることができない案を受諾することはやむを得ないと考える。
- Q** コンクリート工事の際、仕様書にないものを使って塗装合板型枠を使用したにもかかわらず、目荒らし処理がされなかったことが主な原因。なぜわからなかったのか。
- A** 審査会でも議論になったところ。そのため、(株)日匠設計も一定の賠償を課された。

## 休会中の事務調査 久御山町学校施設等長寿命化計画 7月27日

民生教育常任委員会は、「久御山町学校施設等長寿命化計画」について佐山小学校を現地視察しました。

### ■計画の目的

久御山町は、今年3月に「久御山町学校施設等長寿命化計画」を策定した。計画策定の背景は、国土交通省「インフラ長寿命化基本計画」と文部科学省「インフラ長寿命化計画（行動計画）」により、各地方公共団体にも公共施設の中長期的な整備方針を定めることが求められたことによるもの。

本計画の目的は、学校の安全性を確保しながらトータルコストの縮減、予算の平準化を図り、効果的・効率的な長寿命化、計画的な改修・建て替えなどで施設改修をすること。



築43年の佐山小学校・北校舎を視察

### ■計画の方向性

本計画では、対象施設の今後の維持・更新コストを試算するのに、「築30年～40年」で建て替える周期（従来型）は、文部科学省の手引・解説書や、また本町の対象施設が築40年以上を経過しているの、「50年周期」と設定した。

### ■質疑応答

- Q** 空き教室はないが大丈夫なのか。今後の考えは。
- A** 子どもの人数が減少しており、佐山小学校では学年で1クラスのところもある。倉庫として利用している教室も活用していく。
- Q** 校舎と渡り廊下の接続部分をスロープにする考えは。渡り廊下の鉄錆箇所は把握しているのか。
- A** 点検は学校でしているが、教育委員会として把握できていなかった。現地確認し、対応する。
- Q** 現地視察し、要補修箇所が見受けられるが、「計画」に変更はないのか。
- A** 10年間で計画だが、再度の見直しはある。緊急な対応は教育委員会として対応する。

決算現地視察の様子（水槽付消防ポンプ自動車（I-B型）購入）



## 全ての会計を認定

9月会議において、令和4年度一般会計など7会計の決算が、予算決算常任委員会（戸川和子委員長）に付託され、現地視察を含め、延べ6日間にわたる審査をおこないました。あわせて、令和5年度一般会計など7会計の補正予算も付託され、審査をおこないました。

一般会計の決算は歳入総額86億8201万円、歳出総額82億6713万円で、差引額4億1488万円となり、実質単年度収支は8年連続の黒字となりました。

委員会採決では全ての会計を認定、可決すべきものと決し、本会議最終日に委員長から報告があり、採決の結果、いずれの会計も認定、可決となりました。

決算審査について、部局別審査での主な質疑を報告します。

予算決算常任委員会  
の映像配信

久御山町議会ホームページから  
録画映像がご覧いただけます。



## 令和4年度会計決算

（▲＝不足額）

区分	歳入総額	歳出総額	差引額	
一般会計	86億8201万円	82億6713万円	4億1488万円	
特別会計	国民健康保険(事業勘定)	19億2635万円	19億1446万円	1189万円
	三郷山財産区	2719万円	2439万円	280万円
	介護保険(保険事業勘定)	15億5253万円	14億5241万円	1億12万円
	介護保険(介護サービス事業勘定)	984万円	766万円	218万円
	後期高齢者医療	3億2929万円	3億1445万円	1484万円
水道事業会計	収益的収支(税抜)	5億7231万円	6億2552万円	▲5321万円
	資本的収支(税込)	1億835万円	2億2720万円	▲1億1885万円
下水道事業会計	収益的収支(税抜)	7億5239万円	6億6024万円	9215万円
	資本的収支(税込)	1億2981万円	3億184万円	▲1億7203万円

\*万円未満四捨五入

# 主な質疑

## 全世代・全員活躍 まちづくりセンター

**Q** 全世代・全員活躍まちづくりセンター整備事業においてアロバイザリー業務を委託したメリットは。

**A** 町職員は建築について素人なので、設計・運営業者からの質問対応や、契約、図面確認の際などで助かっている。



## 防 災

**Q** 防災力強化総合事業の委託料にあるその他業務の内容は。

**A** ハードディスクの交換や部品交換、Jアラート交換時の受信機代替機費用など。



## 部 活 動

**Q** 中学校部活動支援事業について、支援員2名は少なすぎる。もっと募集すべきでは。

**A** 2名は少ないという認識ではあるが、教職免許や競技に精通していること、また時間の制限があり、人材がいらないというのが現状。一般募集も今後検討していく。



## 病児・病後児保育

**Q** 病児・病後児保育事業について、就学前の児童に限定しているが、小学生以上の拡充は交渉したが、保育士数などの理由で進まない。アンケートで希望する声が多ければ再度検討したい。

岡本病院内にある  
ひまわり保育園



## 歩くまち

**Q** ALUKOアプリの運営費用（330万円）は高い。無料アプリもある中で費用対効果はどう見ているのか。

**A** 歩くモチベーションを上げるための一つであり、統計情報を確認できるため、今後の事業運営の方向性を判断する上でも有益である。



## コンビニ交付

**Q** コンビニ交付サービス事業について、住民票写しなどのコンビニ交付が1752件となっているが、1件あたりの発行単価はいくらか。

**A** 1件あたり3751円。

## 決算現地視察の様子



(左：東角小学校体育館トイレ改修工事 右：佐山排水機場施設更新工事)

# 議案第60号 令和4年度一般会計歳入歳出決算認定について

## 討 論

### 反 対

さらなる事業の外部委託、消防・水道の府下広域化は中止を

異 悦子

令和4年度、国はコロナ禍における物価高騰の最中の10月、高齢者の医療費窓口負担2割の押し付けを強行。物価高騰に対し、国は部分的・一時的対策に終始している。

住民の命・暮らしを守るのが地方自治の第一義的な仕事。事業の外部委託推進及び消防や水道事業の府下広域化は中止すること。

### 賛 成

アフターコロナ、税収増を活かした「心をつなげる」決算

樋口 房次

新型コロナウイルスに翻弄された最終年度となる令和4年度決算は、22年ぶりに町税収入が52億円を超えるなど、アフターコロナの気配が見えてきた。

税の増収を活かし、生活支援、低所得者支援、企業支援、生産者支援、子育て支援などへ「心をつなげる」配分ができた」と評価する。

## 9月会議 全議案の採決結果

### 賛否が分かれた議案

○=賛成 ×=反対 -=欠席

(注) 表中の○及び×は、○=賛成討論、×=反対討論をおこなっています。

議案/議員	日本共産党		公明党		くみやまみらい			@くみやま			会派に属さない議員		結果		
	異悦子	中野ますみ	戸川和子	岩田芳一	島宏樹	松本義裕	辻徹	濱口隆志	樋口房次	塚本五三藏	大宮竹志	田井稔		芦田祐介	中井孝紀
条例 町税条例一部改正	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
4年度決算	一般会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	認定
	国民健康保険特別会計(事業勘定)	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	認定
	介護保険特別会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	認定
	後期高齢者医療特別会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	認定
	水道事業会計	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	○	○	認定
その他	×	×	○	○	○	※	○	○	○	○	○	×	×	可決	
和解について(久御山中学校南校舎外壁タイル浮きおよび修繕工事等に関する仲裁申請に係る和解)															

※松本議長は、賛否同数以外は採決に加わりません。

### 全員賛成の議案

人事	人権擁護委員の推薦につき意見を求める	5年度補正予算	一般会計(第3号)
	固定資産評価審査委員会委員の選任同意		国民健康保険特別会計(事業勘定)(第2号)
	教育委員会委員の任命同意		三郷山財産区特別会計(第2号)
条例	火災予防条例一部改正		介護保険特別会計(第1号)
	契約		全世代・全員活躍まちづくりセンター周辺外構および駐車場整備工事請負契約の締結について
その他			和解について(消防救急デジタル無線機器納入に関する訴えの提起に係る和解)
	4年度決算	三郷山財産区特別会計	下水道事業会計(第1号)
下水道事業会計			





**9議員が  
登壇**

**一般  
質問**

一般質問では、行政全般について町長などに質問しました。

質問者	質問項目（質問方法）	ページ
つじ とおる 議員 辻 徹	①防災（水害）対策 ②防犯・犯罪抑止対策（防犯カメラの設置）	一問一答 P10
あしだ ゆうすけ 議員 芦田 祐介	①職員の非違行為が疑われる事案 ②特産品	一問一答 P11
はまくち たかし 議員 濱口 隆志	①久御山学園	一問一答 P12
なかい たかのり 議員 中井 孝紀	①まちづくりセンター ②中学校外壁タイルの修繕問題	一問一答 P13
おおみや たけし 議員 大宮 竹志	①久御山中央公園再整備 ②子どもの居場所について、現状とこれからの方針	一問一答 P14
とがわ かずこ 議員 戸川 和子	①防災行政無線 ②誰一人取り残されない不登校対策	一問一答 P15
なかの ますみ 議員 中野 ますみ	①防災 ②所得税法第56条及び第57条 ③働き方改革	一問一答 P16
つかもと いさお 議員 塚本 五三藏	①財政状況 ②認知症対策とショートステイに補助金の支援 ③在宅介護に激励金の増額と対象者の拡充	一問一答 P17
たつみ えつこ 議員 巽 悦子	①個人情報保護と健康保険証の今後 ②天ヶ瀬ダムトンネル放流設備による本格的放流による事故 ③高齢者保健事業と介護予防の一体的実施	一問一答 P18

**ここが聞きたい**

各議員の写真の下にあるQRコードを読み込むと、一般質問の動画がスマートフォンやタブレット端末でご覧いただけます。

- 一括質問** 議員の質問時間の制限はなく、質問回数は2回まで。
- 一問一答** 一つの事項を深く掘り下げて何度でも質問できる。議員の質問時間は30分以内。

**定例会の映像配信**  
久御山町議会ホームページから生中継と録画映像がご覧いただけます。



議会だより・会議録はこちら  
久御山町議会





とおる 徹

つじ 辻



動画はこちら

## Q 垂直避難施設の設置と高台整備実施の検討を

## A 宇治川左岸、西二口で高台整備を協議している

### 質問

近年の気象状況は、予想もできないような集中豪雨により甚大な被害が各地で起こっている。

水害から住民の命を守るために、危機管理対策の専門部署の設置や、危機管理監といった専門家を置く考えはないか。災害は待ってくれないが。

### 総務課長

危機管理に精通した人材の登用は有効であると考えており、消防本部との人事交流により総務課防災安全係に消防職員1名を配置した。

### 総務部長

最近の予期できない災害状況に適切に対応していくための組織の在り方を検討した。

そして、人事交流により危機管理に知見のある消防職員を防災安全係に配置し、危機管理体制を強化した。

自衛隊OBの採用も重要と思うが現行の体制で対応していきたいと考えている。



令和5年8月の台風7号での流出

### 質問

水害から命を守るために、木津川右岸の地域や宇治川左岸に面した地域を重点に、垂直避難施設の設置や避難のための高台整備をしてはどうか。

### 総務課長

水害時の避難方法としては、垂直避難場所への避難が有効と考えているが、費用や管理運営の面か

ら難しい。垂直避難が必要となる場合は、災害連携協定により指定している施設などへの垂直避難を早期に呼び掛けていく。

### 町長

一時避難場所として活用できる高台整備については、木津川右岸や宇治川左岸において設置検討をしていたところ、国土交通省からの提案で、宇治川左岸に位置する西一口のストックヤード付近を候補地として協議中である。

高台整備は、将来的に河川防災ステーションの整備も視野にいれ、また住民の一時避難場所として考えている。

## Q 防犯カメラの設置の必要性は

## A 自治会内の合意を得て要望を

### 質問

防犯カメラは、犯罪抑止効果はもとより、犯罪発生時に早期の犯人検挙につながる効果があり、住民の安心安全のため必要と考える

ところである。

特に、子供たちを狙った犯罪や声掛け事案を防止するため、まずは町が管理する公園への計画的な設置をし、そして順次、通学路へと増設しては。

### 総務課長

防犯カメラの設置に当たっては、管理担当課において犯罪の未然防止などに有効な箇所を警察と協議して設置している状況である。

### 都市整備部長

防犯カメラを設置する場合には、周辺住民や公園利用者のプライバシーを侵害する恐れもあるので、自治会内で合意を得て要望いただきたい。

要望があつた公園には、防犯カメラの設置を計画的に進めていきたい。



松陽台集会所の防犯カメラ



あしだ ゆうすけ  
芦田 祐介  
動画はこちら

**Q** 顧問弁護士に再調査を依頼するべきでは

**A** 顧問弁護士に見解を伺い適切に対応している

**質問**

8月17日、教育委員会生涯学習応援課の会計年度任用職員が児童買春・児童ポルノ禁止法違反の被疑事実で逮捕されたとの報道があった。

当該職員が捜査対象になつているのを知ったのはいつか。また、役場は自宅捜索を受けたのか。

**生涯学習応援課長**

逮捕後に警察から電話で報告があった。当該職員が勤務する総合体育館の事務机と町民プール管理棟内の更衣ロッカーが捜索を受けた。

**質問**

今後の対応は。また不祥事防止に向けた教育長の決意と覚悟は。

**教育長**

住民の皆さまに多大なご心配とご迷惑をおかけしたことを心からお詫び申し上げます。

今後は、事実関係を確認の上、厳正に対処するとともに、今回の事件を重く受け止め、綱紀粛正を徹底し、信頼回復に向けて全力を尽くす。



当該会計年度任用職員が勤務していた久御山町総合体育館

**質問**

3月会議では、また別の会計年度任用職員が、監督官庁の許認可を受けずに町内で古物商と自動車分解整備業をおこなっている疑いがあると質問した。

総務部長には、私の元に送られてきた証拠資料を渡したが、どのように感じたか。

**総務部長**

町として判断する立場にない。本人に、疑わしきことのないようにと指導し、本人もそれはやめると言っていた。指導はそこまでと思っている。

**質問**

町の調査は甘い。顧問弁護士に再調査を依頼するべきだが。

**総務課長**

町として聞き取り調査などをおこない、顧問弁護士にも法的見解を伺ってきた。  
適切な対応を図ってきたと考え

**Q** 特産品に特化したPR動画を配信しては

**A** 複数の特産品が生まれ必要であれば検討する

**質問**

ホワイトコーンを含めた町の特

産品に特化したプロモーション動画を制作、配信してはどうか。

**産業・環境政策課担当課長**

今後、さらに複数の特産品が生まれ、町としてPRが必要であれば、動画もひとつの手段として検討していきたい。



町の特産品になった「ホワイトコーン」

**質問**

特産品開発等支援事業(※)で開発された商品を、ふるさと納税の返礼品にする考えは。

**産業・環境政策課担当課長**

本事業は、地域経済の活性化も目的のひとつ。開発された特産品が安定的に生産・販売されるようになれば、ふるさと納税の返礼品として提供を求めたい。

※特産品開発等支援事業とは

特産品の開発を促す令和5年度の新規事業。対象経費の50%を補助、上限50万円。応募期間：7月3日～9月15日。



はまぐち たかし  
**濱口 隆志**  
動画はこちら

### Q 久御山学園の学力向上と学校統合の考えは

### A 久御山学園の教育プログラムを進めていく

**質問**  
久御山学園は、0歳から15歳までを見通した園小中一貫教育を推進し、まちぐるみで将来の久御山を担う子どもたちを育てる組織としてスタートした。一貫教育を進める意義とその目標、および現在の具体的な取り組みは。

#### 学校教育課長

一貫教育により、小学校入学時や中学校入学時に新しい環境での学習や生活にスムーズに移行できる。

人生を開拓しようとする子をめざす子ども像として、たくましく、

しなやかに生き抜く力の育成が目標。

具体的には、言語力育成のための読書活動の充実や、自己指導能力の育成のための非認知能力の観点を取り入れた授業。また、教職員が協働して、カリキュラムの作成や合同研修会を実施するなど、教職員のつながりを大切にした取り組みをおこなっている。

#### 質問

久御山学園学力向上部では「出会い」「深い学び」「ふり回り」を1つのサイクルとして教育活動をおこなっている。学習意欲向上に欠かせない良質な学びとの出会いをもっと増やすべきではないかと考えるが。

#### 学校教育課長

「出会い」とは、授業で教材とどのように出合うか、ということを考えている。

体験的な出会いとしても、子どもたちの知的好奇心や興味関心を高めさせるために、京都府などの出前教室など、様々なことについて、見たり聞いたり触ったりした実体験の場を設けている。

#### 質問

現在、校舎の老朽化にとまいない、3小学校の長寿命化が計画されている。

本町の少子化の現状からすれば、久御山町にある3小学校を1つに統合し、防災やICT環境などを備えた学校の新設を議論しなければならぬ段階にきていると思うが、どのように考えているか。

久御山学園は一貫教育を推進している。中学も一緒にした小中一貫校についても考えていく必要があるのではないか。

#### 学校教育課長

小学校を統合することで、地域の積極的な学校への関わりが薄れ



久御山学園学習  
スタンダード  
実践例  
出会い編 (一部)



小学校渡り廊下の老朽化の様子

ることや、防災拠点が増えるなどの課題も多くあり、統合に関するシミュレーションを行ったことはない。

現時点では施設一体型の小中一貫校を新設する考えはなく、引き続き、久御山学園の教育プログラムを進めていきたい。



なかい たかのり  
中井 孝紀  
動画はこちら

**Q** なぜ半額の7000万  
で同意するのか

**A** また長期間にわたり  
費用がかかる

質問

和解案の金額は7000万円だが請求額1億4000万円の半額である。

以前からこの問題で町の瑕疵は無いと聞いていたが、なぜ7000万円で同意するのか。

学校教育課長

下地モルタル部分の不備が判明し工事を2期に分けたことや、施行のFST工法は通常の工法と比較して高価で過大な施工と査定されたこと、完成から10年経ち補修が必要な時期にきていることで減額された。

質問

タイルの剥離に町の瑕疵は無いが、原因究明の調査で特定に至っていないのに工事を発注したことや、FST工法を実施したことが町の瑕疵であり半額の理由ではないのか。

また、完成から10年経ち補修が必要な時期との指摘だが、2期工事にタイルの剥離はあるのか。

学校教育課長

2期工事で施工したタイルに剥離はない。

質問

もし和解案に同意すれば残りの7000万円はどのようにして回収するのか。

学校教育課長

残り7000万円は町の負担となる。

質問

7000万円への減額理由が町にもあると認めるなら和解案で理解できるが、町に瑕疵が無いと言ふなら争うべきでないか。

町長

和解案に同意しないと今後も長期間にわたり費用などもかかるこ

とから、やむを得ず受諾せざるを得ないと判断した。

**Q** 必要最低限の税金で  
整備すべきでは

**A** 人々が誇りや愛着を  
持つ施設をめざす

質問

まちづくりセンターは、10億円で公募型プロポーザルを実施したが、建築費や内容を見直した結果、総額30億9600万円と大幅な増額になっているため詳細設計でどの程度までコストカットするのか。また、センター内の備品として別途必要な金額は。

企画財政課長

可能な限り既製品を使用し、豪華過ぎるものは使用しない、エレベーターを設置しないなどを見直し設計を進めている。一方、観客席は電動で階段状の設備を導入するため数千万から1億円程度は上がる見込み。

備品は1億円程度必要となる。

質問

想定浸水深を1・1mとして1階フロアレベルを1・2mにしているが、想定外の浸水が各地で発生している現状から、10cm上げただけでは避難場所として不十分でないか。

町長

現在なし得る最大規模の降水量を基に1・2mの嵩上げで問題ないと考えており、現在の計画で進めたい。

質問

備品を入れると32億円程度となるため、必要最低限の税金で整備すべきでないか。

町長

資材や人件費の高騰の影響を受けているが、人々が交流し誇りや愛着を持つ施設をめざしたい。



建設費用が高騰している  
まちづくりセンター



おみやま たくし 大宮 竹志  
動画はこちら

**Q** 中央公園再整備計画の  
目的は

**A** 多世代が集いふれあ  
える公園をつくる

質 問

生涯活躍のまち構想による中央公園再整備計画に期待している。

コロナ後、社会情勢が落ち着いた今、中央公園ではどのような活用があるのか。

また、どういう思いで公園再整備を進めていくのか。

町 長

開設から45年が経ち、老朽化している。スポーツエリアは多く活用されているが、その他は憩いや交流の場として不十分である。

久御山まちのにわ構想で、中央公園とクロスピアくみやまを交流

拠点と位置づけ、実証実験や催しを実施してきた。

地域住民で組織された団体だけでなく、大学生や高校生のグループで企画運営する催しもおこなわれた。

住民の皆さんが主体となる交流体験活動を通して、子どもから高齢者まで、多世代が集いふれあうことのできる公園をつくる。

また、久御山町が抱える内水排除対策としてグラウンド地下に調整池を設置し、防災機能を付与することになっている。



中央公園の幼児広場

都市整備部長

過去の降雨データをもとに10年に一度の確率で降る大雨時の排水解析をおこない、周囲の浸水被害

を防止するため、貯水量6000tの地下埋設型の調整池をグラウンド南東部に設置する。

また、荒見苑の周りも整備し、利便性の向上と、高齢者と多世代との交流につなげたい。



調整池の取水口がつく排水路

**Q** 放課後等デイサービスの  
現状は

**A** 民間によるサービス  
事業所の開設に期待する

質 問

子どもにとって、家庭や学校だけでなく第3の居場所が大切といわれている。学童保育もその一つである。

特に支援が必要な子どもたちの居場所として放課後等デイサービスがあるが、久御山町における放課後等デイサービスの現状は。

福祉課長

サービス事業所は民間で運営され、専門職による個別療育支援や、少数の児童に複数の職員を配置して保育がおこなわれている。

療育にとつて、家庭と学校だけでなく、民間の放課後等デイサービスに期待するところだが、今のところ町内に事業所はないので、宇治市、八幡市など町外の事業所を利用されている。

昨年より、町内の特別養護老人ホームの地域交流スペースにおいて、サービス事業所に委託をして、毎月曜日に放課後等デイサービスを開設している。

障害相談窓口もあり、このサービスを身近に感じてもらい、お試し体験の機会になればと考えている。



とがわ かすこ  
戸川 和子  
動画はこちら

**Q** 防災行政無線の年間経費は

**A** 保守点検費 360万円  
電気代など 78万円

**質問**

初期の整備費用、約1億2600万円かけて設置運用している、防災行政無線の年間の経費は。

**総務課長**

保守点検の費用が360万円と電気代、電波利用料などで78万円。

**質問**

先日、台風7号が発生した時、台風の備えなど注意喚起の放送をされた。その後避難所が開設されたが、放送されなかったのはなぜか。

**総務課長**

防災行政無線の放送は、5段階のレベルがあり、そのうちの警戒レベル3の高齢者等避難を発令した場合などに使用する。指定緊急避難場所の開設についても同じように放送を流すようになっていく。

ただ一方で、自主避難所の開設時は、災害などの状況も総合的に判断していく。

**質問**

大雨警報などが出された時、休校などの放送をしては。

**総務課長**

基本的に警戒レベル3の高齢者等避難を発令する時に使用する。



町内に設置の防災行政無線

**Q** 小中学校、不登校の現状は

**A** 小学校で13人  
中学校で33人

**質問**

令和3年度児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査では、小中学校の不登校が約24万5000人と過去最高になったとのこと。

本町の小中学校の不登校の現状は。

**学校教育課長**

年間30日以上欠席した児童生徒は、中学校で33名、小学校は3校合わせて13名と大変厳しい状況で、大きな課題だと考えている。

**質問**

文科科学省では、不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにすることを目指し、「誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COOCOプラン）」をとりまとめた。このプランでは、自分の学級に

入りづらい児童生徒について、学校内に落ち着いた空間の中で、自分に合ったペースで学習生活できる環境があれば、早期に学習や進学に関する意欲を回復しやすい効果が期待されるとある。本町での設置の考えは。

**学校教育課長**

現在、中学校内に「ほっとルーム」という名称で、生徒、保護者、担任の面談を通して、個別の具体的な目標を定め、生徒の特性、状況やニーズに合わせた適切な支援をおこなうケアを用意している。

また、学校外では、ふれあい交流館ゆうホールで、「ゆうゆう広場」も開設している。

**質問**

不登校の子どもたちを支援していく上で、その保護者を支援していくことも大変重要である。そこで、保護者の会などを設置すべきでは。

**学校教育課長**

今後、必要に応じて保護者同士の交流も検討していく。



なかの  
**中野ますみ**  
動画はこちら

**Q** 流れ橋が流れないように府へ声をかけては

**A** 安全、景観、流出頻度の観点で検討いただく

**質問**

指定・福祉避難所へのペット同伴の規則及び条件は。

**総務課長**

避難所運営マニュアルでは、一般の方の避難場所と分けるなどの配慮が必要としている。京都府のペット同行避難ガイドラインを参考に、柔軟な対応を検討していきたい。

**質問**

木津川に架かる流れ橋は2016年、流出しにくくするために75cm高く構造変更しているが、その

後3回流出した原因は。

**建設課長**

嵩上げ工事で流出の可能性は低くなったが、流出し得る水位まで上昇したことで流出した。

**質問**

流出すれば復旧作業は京都府がするが、費用と日数がかかり過ぎる。独特の構造を有する流れ橋が織りなす景観を望むならば、水位などを考慮して流れにくくするよう町から府へ声をかけるべきでは。

**建設課長**

流出については、安全性、景観性、流出頻度、こういった観点から引き続き検討していただく。



流れ橋

**Q** 所得税法56条廃止に向けて声を上げては

**A** 基本的には国会において議論される問題

**質問**

所得税法第56条は、配偶者とその家族が事業に従事した時、労働分の支払いは必要経費に算入しないというもの。白色申告の場合、事業主の所得から配偶者86万円、家族50万円を控除するのみである。自営業者の家族は自立しにくい状況に置かれるが、人権問題として控除額をいかに考えるか。

**税務課長**

実際に支払いがおこなわれているかを問わず、家族従業員があれば、定額で必要経費とみなすという記載である。

青色申告すれば労働者への支払いは経費に算入できるし、この規定だけをもって自立しにくい、人権が侵害されるといような状況には至っていないと考える。

**質問**

家父長制度は戦後に廃止されているが、世帯課税を引き継ぐ56条はそのまま。56条廃止に向け声を上げるべきでは。

**税務課長**

近隣で行政から国に要望をあげたところはないが、議会の意見書として提出されているところはあ

ると聞いている。

所得税については、基本的に国会で議論される問題であり、国の動向を注視していきたい。

**Q** 働き方改革の取り組みは

**A** 時間外勤務縮減や休暇の取得促進等している

**質問**

町の働き方改革への取り組みは。

**総務課長**

久御山町特定事業主行動計画に基づき時間外勤務の縮減、年次休暇の取得促進等の取り組みを推進している。

**質問**

適材適所の人員選びは。

**総務部長**

毎年各部のヒアリングもしながら適材適所の人員の配置などを考慮して対応している。





つかもと いさお  
塚本五三藏  
動画はこちら

**Q** 久御山町の財政状況と今後の見通しは

**A** 健全で持続可能な行財政運営に努める

**質問**

本町の財政状況と今後の見通しは。

**企画財政課長**

町税収入は平成12年度以来22年ぶりの52億円。一般財源相当額は60億6千万円。実質単年度収支額は、平成27年度決算から8年連続して黒字であり、財政調整基金残高は36億3千万円となった。

今後、災害などに伴う突発的な費用の発生も予測されるため、適切かつ健全で持続可能な行財政運営に努める。

**Q** ショートステイに補助金の支援は

**A** 実態を踏まえ効果ある施策にする

**質問**

ショートステイとは短期入所生活介護のサービスで、最短1日から1日単位で利用でき、介護者の冠婚葬祭や体調不良時、またリフレッシュのための在宅介護の重要な支援である。

国の補給給付の見直しで、施設利用の食費や居住費の負担額が上がった。このことで利用控えによる重度化を防止する対策である。

物価高騰のため、経済的にもショートステイに支援があっても良いのでは。

**民生部長**

ショートステイの利用料を助成する制度は本町、近隣にはなく、今後の課題であり、高齢者とその家族の生活に寄り添った施策に積極的に取り組む。

**町長**

ショートステイ補助金の他市町

の事例は、低所得者支援として自己負担を軽減する補助や、支給限度額を超えたショートステイの頻回利用に超過利用料の一部補助などの制度がみられる。  
先進市町の事例を調査するなかで、本町のショートステイ利用者の実態を踏まえ、効果のある施策について検討を深める。



**Q** 激励金の増額と対象者の拡充は

**A** 高齢者支援でより良い方向性を見いだす

**質問**

国は施設介護を少なくし、在宅介護に転換とサービス内容の減少、

給付費の削減をおこなう。

年金暮らしにとつて、負担増額と歴史的な物価高など厳しい現実である。

在宅介護激励金は、久御山町独自の取り組みで近隣自治体には無く、大変ありがたい。

高齢弱者の救済措置として、激励金の増額と対象者の拡充は。

**福祉課長**

居宅で要介護3以上の人を介護する家族に対し、激励金を支給し、在宅介護などをねざらい、もって在宅介護生活の福祉向上を図っている。

**町長**

高齢者保健福祉計画の策定に向けて、地域包括ケア推進会議にて検討が進められ、在宅介護の支援のあり方を議論している。

全世代・全員活躍のまちづくり構想を進めるうえで、高齢者支援は必要な施策として考えている。

今後の町の高齢者支援策としてより良い方向性を見いだしたいと考えている。



えつこ 悦子  
たつみ 巽  
動画はこちら

**Q** 町個人情報保護条例の変更は可能か

**A** 地方公共団体が定めることにはならない

**質問**

マイナンバーカードの紐づけ誤りが後を絶たない。国の紐づけ等の総点検について、本町への指示および、その結果は。

マイナ保険証では、保険者は対象ではないので、紐づけ誤りは確認していないのか。

**企画財政課長**

本年7月、マイナンバーを確認書類とともに取得しているか、基本4情報（氏名・生年月日・性別・住所）によりマイナンバーを照会しているかなどの実態把握調査で、本町にも照会があった。

8月8日、点検対象機関に個別通知がされたが、本町への点検対象となる旨の通知はない。

**国保健康課長**

本町の国民健康保険は照会がなかったということも踏まえ、紐づけ誤りは確認していない。

**質問**

個人の情報の開示がどうなっているのか、わかるようにすべきでは。個人情報保護条例変更は可能か。

**企画財政課長**

令和3年改正で、国が条例から法律に変えたので、個別に地方公共団体が定めていくことにはならないと考える。

**Q** 天ヶ瀬ダム放流事故で、本町への説明は

**A** 現在、説明は受けていない

**質問**

5月9日の天ヶ瀬ダムのトンネル式放流事故に関し、下流の本町

に説明はあったのか。1500t放流となっても大丈夫だと言いつけるのか。また、堤防補強はできているのか。点検する機関は。

**建設課長**

現在、説明は受けていない。1500tを常に放流という訳ではない。状況を見る中で、後期放流や流量調整をされる。洪水調節の機能を有することが大事であり、今までできなかった操作が可能になる。

**都市整備部長**

国土交通省では、日々、堤防の上から、堤防の中、堤外側のパトロールをされており巡視の中で点検作業をされている。



天ヶ瀬ダムのトンネル式放流口



崩落後応急復旧した対岸

**Q** 事業計画実施に当たり人的配置はどのように

**A** 各担当課と情報共有を図り取り組んでいる

**質問**

京都府後期高齢者医療広域連合議会での説明を聞いて、やること、が沢山あると感じた。本町が事業計画を実施するに当たり人的配置はどのように。

**国保健康課担当課長**

実施に当たっては、家庭訪問による保健指導や健康教室を計画的に実施していくための専門性が必要となることから、国保健康課の保健師1名に加え、6月から会計年度任用職員として保健師1名を雇用した。

健診・医療・介護などつながりのない方の掘り起こしと共に、今後、必要と思われる制度へつながることが重要なので、久御山町地域包括支援センターや介護保険の担当者とも情報共有を図りながら、一緒に取り組んでいる。

# 視察報告 広報広聴委員会

7月24日  
～25日

7月24日から25日の日程で、議会だよりなどの先進地の視察をおこなった。

## すえまち 須恵町議会(福岡県糟屋郡)

須恵町の面積は、16・31km<sup>2</sup>と久御山町とほぼ同じだが、人口は2万9299人と久御山町の倍近くあり、現在も若い世帯の人口増加が続いている。

須恵町議会発行の議会だよりは、全国広報コンクールで優秀賞を受賞されるなど、高い評価を受けている。



表紙の写真は、『未来を担う子どもたち』をテーマに、議員が撮影した写真から選択されており、



とても素敵な笑顔の議会だよりに仕上がっている。また、平成21年から全頁フルカラーにされている。掲載内容の中には、『一般質問のその後』として、追跡記事が取り上げられており、住民の関心を引くと感じた。

また、各種団体との座談会も実施されており、多くの声を聞くことで議会活動に結びつけられていることはとても参考になった。

私たちがめざす広報広聴活動として足りないところを改善し、今後に生かしていきたい。

## あしやまち 芦屋町議会(福岡県遠賀郡)

芦屋町の面積は、11・58km<sup>2</sup>と久御山町よりも狭く、人口も1万2977人と久御山町より少ない。

芦屋町議会発行の議会だよりも、全国広報コンクールで表紙デザイン賞を受賞されるなど、高い評価を受けている。



余談であるが、町内に御牧大橋(みまきおほし)があり、同じ御牧という珍しい呼び方に親近感を覚えた。

議会だよりにはカラーが多く取り入れられており、写真を多用した構成がとても見やすく町民の皆さまもイメージがしやすいと感じた。

また町独自のコロナ支援策に議員の声がどのように反映されたかを、一般質問された議員の顔写真を入りで掲載されていたのは住民に

分かりやすいと感じた。

掲載内の住民の一言インタビューや町かどインタビューは、率直な意見が書かれており、議会活動の励みにもなると感じた。

議会としての清掃活動は、多様な議会活動を知っていただく一助にもなると感じた。

芦屋町議会の皆さまも、議会だよりの編集にとっても力を入れていると、久御山町議会の活動も頑張らなければならないと感じた。

先進的な取り組みは今後の活動に生かしていきたい。



視察にご協力をいただきました須恵町議会と芦屋町議会の皆さま、ありがとうございました。



議会主催の  
地域懇談

# ほんわかせっしょん

▶ 11月13日(月) ▶ 久御山町役場 5F  
午後7時～9時 コンベンションホール

▶ 11月18日(土) ▶ ゆうホール 2F  
午後2時30分 交流ホール  
～4時30分

お気軽にご参加を!

"これからのこと"一緒に語りませんか?

テーマ  
その1

昭和28年の水害から70年、  
防災対策は大丈夫?

テーマ  
その2

「子どもを産み、  
育てやすいまち」とは?



主催：久御山町議会・問い合わせ：議会事務局 (075-631-9996・0774-45-0105)

## 条例改正や補正予算は？



- 専決処分という言葉が何回も出てくるも、意味がわかりませんでした。
- 国庫負担による子育て世帯生活支援特別給付金支給事業についても、うまく制度を活用していただいていると思いました。
- 水道料金の負担（の減免）がとてもうれしい!! 物価高騰や電気代の値上がりで、家計にひびいているので助かります。
- 水道料金の減免は町独自の施策として、とても良い支援だと感じています。
- 消費税のインボイス制度がよくわからないので、詳しく説明してほしいです。
- 水道料金の減免の件、Q&Aがわかりやすい。



## わからない点などは？

- 正直、わからないことだらけで、「何がわからない」のかも「わからない」状況ですので、自分でも勉強しなければと思います。
- 4会派が結成とありますが、会派ごとに活動されている内容が知りたいと思いました。
- 議会を開催されていない時は、議員は何をされているのですか。
- 議員さん、議会運営に携わるスタッフのみなさまが住民のことを考えてくださっているのだなと感じ、頭が下がる思いです。一方で、明石市のように広く議論の場を開く仕掛け（ファシリテーター）があってもいいかなと感じました。

## 議会モニター「アンケート」

前号(8/1・No.171)の議会モニターさまからのアンケート「回答(一部)」を紹介します。

## 特に興味を持った項目は？



- “このまちこのひと”、今回も興味深かったです。
- “このまちこのひと”。現代のお坊さんは、これくらい庶民に近づいてもらった方が親近感があっていいと思いました。
- 「このまち このひと NO.39」フリースタイルなお坊さん／稲田さんのことを知り、素晴らしいお方だなあと感じました。
- 「フリースタイルなお坊さん」は、娘の同級生なのでビックリしました。久御山町で頑張っていることがわかり、とても嬉しく思います。
- 久御山中央公園の再整備(P6)。久御山中央公園の活性化として、今後の動向が気になる。
- ホテル建設、みなくるタウン、中央公民館については、今後も詳しく知りたいと思います。
- 人口減少問題の対策です。
- 当事者である子育て施策に関して、やはり関心が高かったです。

## 広報広聴委員会

委員長	中井 孝紀
副委員長	巽 悦子
委員	岩田 芳一
	大宮 竹志
	田井 稔
	辻 徹
	濱口 隆志
	松本 義裕
オブザーバー (議長)	



大宮 竹志

このような設備や施設のおかげで私たちの暮らしが守られていることを実感しました。

先日、リニューアルされた佐山排水機場を視察しました。

所)へ運び、家族も無事に避難できたそうです。

水に浸かってしまいました。決壊から家屋の浸水まで時間があ

ったので、家財や食料を屋根裏

のわら2階(稲わらの備蓄場

所)へ運び、家族も無事に避難

## 編集後記

今年(昭和28年)の水害から70年の節目の年。

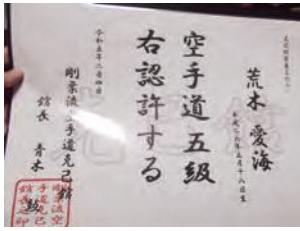
このまち  
このひと  
No.40

# 来年こそは全国優勝!



あらい まりん  
**荒木 愛海**さん  
(東角小学校3年生)

第23回全日本少年少女空手道選手権大会の3年女子組手競技に出場した荒木愛海さんは、5歳の時にテレビで試合の型を見たのがきっかけで空手を始めました。練習は、淀の道場へ毎週火、金、土に通っており、午後7時30分から9時まで厳しい指導を受けているようです。週に3日の練習は辛い部分もありますが、好きなことなので全部楽しいと笑顔で語っていました。



全国大会には2年連続の出場となりましたが、昨年は緊張して前へ出られなかったために悔しい思いをしました。今回は攻めることができたので、2回戦で敗退したものの1年間の成長を感じられました。



左側が荒木愛海選手

今後の目標は、3年連続で全国大会に出場し、今度こそは優勝して金メダルをもらうこと。憧れは、1年先輩で全国大会の組手競技で準優勝をした4年生の選手。いつかは追いつき追い越したいと語ってくれました。

いつも練習場所への送迎をしてくれたり、優しく励ましてくれていた両親に感謝していました。小学校では勉強のわからないところも頑張って勉強しており、好きな教科は図工だそうです。空手以外の趣味では、友だちとプールやゲームで遊ぶことが大好きな少女です。

将来は人を綺麗にする美容師さんになりたいと素晴らしい目標も語ってくれました。頑張れ愛海さん、めざせ全国優勝!みんなで応援しています。(聞き手・広報広聴委員会)



第22回全日本少年少女空手道選手権大会  
2019年9月10、11日、滋賀県の森田記念スポーツアリーナ

表紙の「くみやま」を書いたのは中井一さんです。



中井 一さん  
(御牧小学校3年生)

久御山町といったら「野菜!」が頭の中に浮かびました。字に合わせてどんな野菜がいいか考える時間は楽しかったです。

学校で過ごす時間は楽しいです。友だちとサッカーをしたり、理科で虫探しをしたり。最近では、算数が好きになってきました。

将来は、宇宙飛行士になりたいです。宇宙に行ったら、「本当に物が浮くのか」について実験してみたいです。